金賞

「福島市が好きですか？」

ペンネーム

福島 Y U K I
ふくしま ゆき

「福島市が好きですか？」と聞かれたら、私は迷わず「はい。」と答える。まず名前が好き。「福」の島。幸福がたくさん詰まった島。こんなに素敵なネーミングを考えた先人はすごい。名前のとおり、福島市にはたくさん「福」がある。

例えば、私の休日の朝一番の楽しみは、新鮮な野菜や果物を、直売所や無人販売、道の駅に行くこと。採りたてのみずみずしい野菜や果物達が、生産者の名前とともにここぞとばかりに並んでいる。どれもすごく美味しそうで、何を買おう、何を作ろうかとわくわくする。福島市自慢の豊かな自然の産物。美しい空の下、美味しい空気と水、大地からの贈り物だ。

他のお客様達も、「緑がきれい」「もう旬だね」「そろそろ桃も食べ納め」なんて言いながら買い物かごにお目当ての野菜達を

詰めている。ご夫婦で仲良く買い物をして

いる方や、ご年配の方に通路を譲る方もいて、見ていてほのぼのする。食べ方や保存方法を生産者やお店の方にきいている人もいる。販売している方も親切に教えて下さり、レシピをつけて下さる時もある。人と人との触れ合いがとても素敵で、何よりも自分が売っている物に自信があるのがわかる。私も、いつも安心して安全だと思って食べている。「これって福島への愛だな、信頼だな。」と私は思う。おいしくって温かい「ふくしま」の味。

二〇一一年の震災の後、しばらくは空を見ることも木や花を見ることも怖かった。当たり前のように目の前にある、今、福島

の自然を享受するこの幸せは、大変な苦勞を一つ一つ乗り越えてきたのだと思うと、胸が、目が、熱くなる。
きれいなみどり、文化を愛し、未来への希望に輝く、思いやりにあふれ、親切で、互いにきまりを守り、楽しく働ける、いろいろな世代が生きがいをもって過ごせるまち。福島市民憲章に掲げられていることは、「当たり前」のことではない。一つ一つを

みんなが心に刻んで守っていこうとしない
と続かないことだ。

「ふくしま」と発音すると、「ま」から口を閉じるまで、ひかえめだが優しい表情になること、「ふくしまし」まで言うとき、最後ににっこりした笑顔になることを皆さんは知っていますか。ぜひ、試してみてください。

一番大切なのは、互いに尊重しあい、温かい心でいること。大切なこの福島を、市民みんなですべて守っていきたいと思う。